

## かのや夏祭り「総踊り」実況生放送《平成24年FMかのや》

【店舗名 塩川紙店（中山 昭郎さん）】

かのや夏祭りの思い出を教えてください。

現在は「共栄ばか踊り連」で25年近く踊っておりますが、スタートは昭和45年頃、北田チームで踊っていました。（店舗が旧桜デパート前！現在のリナシティの所にあった為）当時のごって牛と呼ばれた強靱な農耕馬が20人位乗せた、だし車を引いていました。料亭のお姉さん達が三味線を弾き、太鼓を叩き、生歌のハンヤ節で踊っていました。その当時は昼から各町内の「子供神輿」が5～6基繰り出し、踊りも暑い中踊ったと記憶しております。確か「義経の大将」もこの頃、勉強の為、「北田山」に乗り始め三味線を弾いていました。北田の交差点は昼前から近隣の町村から人が集まりはじめ、踊り本番の頃は、それは言葉に表せない位の人出でした。（現在のように、各地でイベント等がまだ少なかった為ではなかったでしょうか。）北田の踊りで一番記憶に残っているのは、踊りの終盤、大手町の交差点で5～6分位の休憩があり、道路に腰を降ろしている時に、その当時流行っていた志村けんの「東村山音頭」を踊り手の誰かが「チョチョンのチョン」と手拍子を始め、それがみんなに広がって行き、休んでいた太鼓や三味線のお姉さんたちも、音を出し始め結局皆立ち上がり円陣を組む中「チョチョンのチョン」で踊りがはじまり、本番とは別で最高頂に達したことを思い出されます。

今年63才になりますが、イカダ下りに始まり今年で25回目となる川下り「タライアスロン大会」のスタッフの一員として、又「共栄踊り連」の踊り子として夏祭りを盛り上げていきたいと思って頑張ります。

## かのや夏祭り「総踊り」実況生放送《平成24年FMかのや》

【店舗名 前原呉服店（前原 博正さん）】

かのや夏祭りの思い出を教えてください。

私が保育園、小学校の昭和40年前後、町内会ごとに牛が引く山車があり、2階では日本髪が結った美しいお姉さんたちが、三味線、太鼓に生歌、1階には法被を着た子供たちを乗せて町じゅうを回るものでした。そして町内会ごとの神輿！その神輿をかつぐのに、子供が多いために選抜され、なかなか担ぐことが出来ず、やっと選抜された時の喜びを今でも思い出します。

さあ、今の子供達の思い出作りの為に祭りに参加しましょう。



昭和35年祇園祭

## かのや夏祭り「総踊り」実況生放送《平成24年FMかのや》

### 【店舗名 肥後たばこ店（肥後さん）】

かのや夏祭りの思い出を教えてください。

夏祭りの朝、NTT前。ねじりはちまきにハッピをまとった各地域の小学生のお兄ちゃんたちが、籠屋さんのように二人でひとつの賽銭箱をもって歩く。「お願いしま〜す」という元気な声。女の子はきれいな服に化粧をし、綺麗に飾り付けられた籠に座り、その籠を別の二人が持って歩く。しばらくすると、今度は大きな声とともに男衆の神輿。「ワッショイワッショイ」という大きな声に雰囲気もガラリかわる、周囲の大人たちがホースやタライに溜めた力水をかけ、焼けたアスファルトの匂いの中で神輿の鈴の音が響く。各地の神輿が通り過ぎても、その熱気と迫力にいつまでも胸が高まっていた。

各地域の神輿が通り過ぎると、いよいよ「山車」。三味線の音とともに牛車が現れ、その後ろを踊り連が続く。二階建ての「山車」には「ミスかのや」の3人が乗っていたり、たくさんの子供達がいり。そうかと思えば、赤いジープに当時の戦隊ヒーローがのってきて、集まる子供達に握手をしたり、写真撮影に応じたり。次はどんなヒーローが来るだろうと思えば、現れたのは高さ2m以上もある鬼。血相をかえて慌てて家に飛び込む子供達。震えながら鬼が通り過ぎるのを待つ。

様々な団体が休みなく通りを踊り歩き、夕方になるとエレクトロカルパレードのような電飾をまとった車も登場する。見たこともないオープントップのスポーツカーが通ったかと思えば、トラクターにひっぱられる山車、かける音楽もサンバや阿波踊りなど様々。「もうお腹一杯満喫しました。」と思う頃にやってくるのが名物JC太鼓。祭りの最後をしめくくるように、トラックの荷台で複数の男性に力強く打ち鳴らされる和太鼓。大きかった「ドンッドンッドンッ」という太鼓の音が、やがて小さくなると夏祭りもおしまい。魔法から覚めたように、街はすっかり静かになっていた。

前夜祭、コーラやラムネの一气飲み大会やヒーローショー、たくさん屋根が並んだ中央公園野球場は、今では立派な武道館がたちました。

本祭、名称から「ばか踊り」という名前が外され、開始時間は昔より遅くなりました。後夜祭の花火大会は自衛隊から場所が変わり、新しくなった商工会議所の近くで行われるようになりました。

年月とともに姿をかえてきた夏祭り。

当初は参加人数が少なくなると聞いていた今年、ふたをあければ昭和56年以来の参加人数の多さだとか、今の子供達がまた、こうして思い出を語れるように素敵な祭りになることを期待しています。今回は「月刊焚き火ライブ ばか踊り連」で参加します。差し入れ・おひねり大歓迎！来週はリナシティ川のステージで「焚き火ライブ」開催です。スタッフ・出演者募集中。ぜひ会場に遊びにきてね。